

安全な避難のために 五木村 防災マップ

平成16年8月発生(東切)台風16号被害

いざという時の連絡先

五木村役場 37-2211
2211 (IP電話)
ホームページ <http://www.vill.itsuki.lg.jp/>

●警察への急報(事故・事件) 110番●

人吉警察署 24-4110
五木駐在所 37-2028
2028 (IP電話)

●消防への急報(火災・ケガ) 119番●

人吉下球場消防組合中央消防署北分署 37-2119
2119 (IP電話)

●NTT災害用伝言ダイヤル 171番●

●五木村診療所 37-2008
2008 (IP電話)

〈家族・親戚等の連絡先〉

名前	社名・学校名など	電話番号

〈避難場所〉 防災マップに示されている最も近い避難場所を記入してください

〈集合場所〉 家族や地域のひとと相談して、避難の際の集合場所を決めておいてください

●熊本市内の雨量・気象情報を携帯電話とインターネットで提供●

(株)ウェザーニューズ

パソコンから <http://kumamoto.wni.co.jp/>
携帯から <http://kumamoto.wni.co.jp/i/>

(財)日本気象協会

パソコンから <http://www.jwaq.gr.jp/kumamoto/>
携帯から <http://www.mobile.bousai.pref.kumamoto.jp/>

非常持ち出し品 チェックリスト

●一次持ち出し品●

避難するときに最初に持ち出します。あまり欲張らず、男性で15kg、女性で10kg程度の重さを目安に準備しましょう。

貴重品類	現金、10円玉	貯金通帳	カード類	健康保険証	免許証	証書類	印鑑	家や車のキー
10円玉は公衆電話用に20枚程度用意しましょう。通帳・カード・保険証などについては、少なくとも番号を控えたメモをあらかじめ用意しておきます。								

避難用具	携帯ラジオ	懐中電灯、ろうそく	予備電池	ヘルメット
ラジオは小型で軽く、FMとAMの両方聞けるもの、照明器具はなるべく一人に一つ用意。				

救急用具	消毒液	傷薬	湿布薬	三角巾、包帯	脱脂綿	ばんそうこう	風邪薬、胃腸薬	常備薬

非常食料・食器	乾パン	缶詰	ミネラルウォーター	組立食器、缶切りなど
避難時に持ち出せる最低限の量で、調理しなくても食べられるものを用意しましょう。				

衣類	下着類	防寒着	雨ガッパ	タオル、ハンカチ
衣類は不燃素材や綿製品のものが多いでしょう。				

生活用品など	万能ナイフ	マッチ、ライター	すべり止め付軍手	ビニールシート	ビモ、ガムテープ	ティッシュ	裁縫道具	洗面用具

その他	生理用品	赤ちゃん用品	筆記用具	住所録のコピー

●二次持ち出し品●

災害復旧までの数日間を自足できるように準備しておくものです。家族1人あたり3日分を用意しましょう。

飲料水	食料品	燃料・その他
大人1人当たり3リットルが必要最低量。家族全員の分をポリタンクなどに溜めておき、沸かしてから飲みましょう。その他、家事・洗濯・トイレなどに使う生活用水の確保も忘れずに。	そのまま、または簡単な調理で食べられるもの、缶詰、レトルト食品、カップラーメン、切りモチ、アルファ米など、調味料も準備しておきましょう。	短期間なら卓上コンロで充分ですが、冬期は暖房用の燃料が必要です。その他、ビニール袋、新聞紙、キッチン用ラップなどもあると便利です。

障害のある方の家族の対策

室内の安全を確実に

目の不自由な方や身体動作の不自由な方、あるいは高齢者のいる家庭では、ことのほか室内の安全には気を配りましょう。寝室・居室での転倒・落下物の防止、ガラスの飛散防止を確実に。

聴覚障害者のために

- 本人はいつも、だれにでも事態の確認を求められるように質問カードを所持しておきましょう。
- 聴覚障害のある家族が留守番するようなどきには、近所に手助けを頼むようにしましょう。(その方法を決めておく)
- 聴覚障害者の方は、とくに夜間、就寝時の情報入手について、近所の方と方法を決めておきましょう。

内部障害のある方のために

人工透析、糖尿病の自己注射、心臓疾患等、いつも医療を受けていなければ生命の危機に直面するような方は、大きな災害が発生したとき、どうすべきか、医療機関とよく相談しておきましょう。それをもとにして、地域社会との接触を考えましょう。

地域社会との接触

消防団や自主防災組織などに率直に事情を説明し、避難などの緊急行動の際の助力を申し出ておきましょう。高齢者や寝たきりの方、視覚障害のある方、肢体不自由の方、病弱の方などの緊急行動は優先的で行っていただく必要があり、担架やリヤカー、車椅子などの用具を必要とするからです。

避難に関する情報を知ろう

情報の伝わり方

村は、住民の皆さんに避難が必要と判断した場合、その緊急度に応じた避難情報を発表します。呼びかけがあった場合には、速やかに避難してください。

五木村 → 避難準備情報、避難勧告、避難指示、洪水予報、土砂災害警戒情報 → IP告知端末、防災行政無線、広報車、消防団、区長、テレビ・ラジオ、いつきちゃんネル → 住民の皆さん

避難の流れ

大雨や大雨が降り続いたら！ → 洪水・土砂災害発生のおそれ → 避難準備 → 避難勧告・避難指示 → 避難

緊急避難
避難勧告・避難指示
家族・近所で助け合いながら、指定された避難場所に、速やかに避難を始めてください。より緊急性が高まった場合には、避難指示を発令します。至急避難してください。

事前避難
避難準備情報
避難の準備を整え、テレビ・ラジオの放送に絶えず注意を払ってください。災害時に支援を必要とする人や、低地や危険箇所に居住の方は避難を始めてください。

さあ、集まって！

大雨が降ったら、正確な情報を入手しよう

1時間どのくらい雨が降ったら危険なの？

やや強い雨	強い雨	激しい雨
ザザーと降る 1時間雨量 10~20mm未満 ▶地面からの跳ね返りで足元がぬれます。 ▶この程度の雨でも長く続くときは、注意が必要です。	どしゃ降り 1時間雨量 20~30mm未満 ▶傘をさしてもぬれます。 ▶側溝や下水、小さな川があふれ、小規模のけがれが始まります。	バケツをひっくり返したように降る 1時間雨量 30~50mm未満 ▶道路が川のようにになります。 ▶山崩れ・がけ崩れが起きやすくなり、低地や危険箇所では避難の準備が必要です。 ▶下水管から水があふれます。

非常に強い雨
滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)
1時間雨量 50~80mm未満
▶水が白く濁り、一面が白っぽくなり、視界が悪くなります。
▶土石流が起こりやすく、多くの災害が発生します。
▶マンホールから水が噴出します。

猛烈な雨
息苦しくなるような圧迫感がある、恐怖を感じる
1時間雨量 80mm以上
▶大規模な災害が発生するおそれが高く、厳重警戒が必要です。

情報の取得先

パソコンから 熊本県統合型防災情報システム <http://www.bousai.pref.kumamoto.jp/>

携帯電話から 熊本県統合型防災情報システム(携帯版) <http://www.mobile.bousai.pref.kumamoto.jp/>

雨量情報

早めの避難に役立てよう

河川の水位について

河川では、はん濫の危険度などを示す水位が定められています。河川の水位情報に注意して、早めの避難に役立てましょう。

はん濫の発生	水位の概要
はん濫危険水位(危険水位)	いつはん濫が発生してもおかしくない段階
避難判断水位(特別警戒水位)	避難の必要も含めてはん濫に対する警戒を求め始める段階
はん濫注意水位(警戒水位)	はん濫の発生に対する注意を求め、水防団(消防団)が出動する段階
水防団待機水位(通報水位)	水防団(消防団)が待機する段階

土砂災害の種類

- 急傾斜地崩壊危険箇所(がけ崩れ)
- 土石流危険渓流
- 地すべり危険箇所

がけ崩れは、急な斜面で突発的に起こります。瞬間に崩れ落ちるため、避難が遅れがちになります。

土石流は谷筋で起きます。土砂などが水と混ざり、流れ下り、速度が速く大きな破壊力を持っています。

地すべりは、一度に広い範囲の地盤が動き出します。速度はゆるやかですが、発生すると大きな被害をもたらします。

このような前ぶれに注意！

- がけからの水が濁ります。
- がけに亀裂が入ります。
- 小石がバラバラ落ちてきます。
- 斜面がふくらんできます。
- 雨水が斜面を流れて濁りができます。
- 斜面の方から大きな音がします。
- 山鳴りがします。
- 雨が降り続けているのに川の水位が下がります。
- 川の流れて濁ったり流木が混ざり始めます。
- 地面にひび割れができます。
- 沢や井戸の水が濁ります。
- 斜面から水が吹き出します。

早めの避難と日頃の備え

日頃から地域を知り、早めの避難を心がけることが命を守ります。避難場所の確認や安全な避難路の確保など、いざというときに備えましょう。

備える！地震に備えて...

■地震から身を守る最大のポイントは事前の備えです。
■日頃より家の中の対策を実施しておきましょう。

今てきまます！家の中の対策

- 家具、テレビなどは金具や粘着マットなどで固定し、高い場所には物を置かないようにしましょう。
- 窓ガラスや食器棚のガラスなどには飛散防止用のフィルムなどを貼りましょう。
- 照明器具は揺れで落ちてこないようにしっかり固定しましょう。
- ブロック塀や石塀は崩れないことを点検しておきましょう。
- 風呂には常時水をためておきましょう。

非常用持出品 非常用持ち出し品は、すぐ取り出せる場所にまとめて保管しておきましょう。定期的に点検し、必要に応じて新しいものに交換しましょう。

発生時は？地震発生その時の行動

身の回りの物で頭や身体を守り、パニックにならず冷静に行動しましょう。

まず自分を守る	すばやく火の始末	出口の確保を
揺れが続いている場合はテーブル、机などの下で安全を確保しましょう。	揺れが収まってから落ち着いた火の始末をしましょう。	建物ゆがんでドアが開かなくならないように開け放しましょう。

協力しあって応急救護	正しい情報をつかむ	冷静に避難
けが人が出た時はお互いに協力して応急救護をしましょう。	村の広報、ラジオやテレビの情報に注意しましょう。	地震は1分過ぎればまず安心。家庭などで話し合ったことを思い出しましょう。